

# やまびこ

湯山小学校発行 2号 2026.5.22

## 支えて育てる

特別支援教育主任 松本 幸一

子どもたちは、ちょっとした工夫や関わり方で、大きく変わることがあります。例えば、「早くしなさい」と急かすのではなく「あと〇分で〇〇しよう」と見通しを伝えることや、「どうしてうまくいかないの？」ではなく「ここまでではできているね」とよさに目を向ける声掛けなどです。

特別支援教育は、全ての子どもたちを対象に、家庭や学校など生活の場を問わず、一人一人を包み込むように支えていく教育の考え方です。学校とご家庭とで力を合わせて、できることを少しずつ積み重ねていくことが、将来につながる力を育てると信じています。

### 【学習の工夫】

- ・一度に多くを伝えず、短く区切って説明する
- ・活動の見通し（手順・時間）を示す
- ・視覚的に分かりやすくする
- ・具体物や体験を通して理解を助ける

### 【声かけ・関わり方】

- ・安心できる関係づくりを大切にする
- ・できているところを認めて伝える
- ・指示は具体的に伝える
- ・「がんばって」ではなく、「ここまでやってみよう」と示す

子どもたちが自分らしく力を発揮できるよう、学校と家庭が同じ方向を向きながら、支えて育てていきたいと思っています。



## 修学旅行の思い出



5月11、12日、6年生が修学旅行で広島へ行きました。1日目は、広島平和記念資料館の見学や宮島散策、2日目は、やまだ屋おおのファクトリーやみろくの里に行き、楽しく充実した時間を過ごしました。



広島平和記念公園では、戦争の恐ろしさや苦しさ、平和の大切さを学びました。自分たちが折った千羽鶴を捧げることができてよかったです。宮島では、厳島神社で歴史を感じ、水族館ではかわいい生き物をたくさん見ることができました。



2日目には、もみじまんじゅうを実際に作る体験をして、できたてを食べました。温かくてとてもおいしかったです。みろくの里では、ジェットコースターや空中ブランコがとても楽しかったです。集団行動をすることは、みんなと折り合いをつけることも必要でした。安全に仲良く行動することができました。これからも修学旅行で学んだことを生かしていきたいです。

